

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5	生活記録の内容に、入所者の発言や様子などの具体的な内容や、職員の気づきや工夫、アイデアを含めて具体的に記録が出来ていない。	全職員が、入所者の発言や様子、職員の気づきや工夫が記録できるようになる。	職員会議で、目標としている記録が出来ている生活記録を読んでもらい、意識付けしていく。	12 か月	以前よりは、記録の内容が良くなっているが、気づきや工夫が書かれていない記録も多い。
2	29	入所者の安全面の為ではあるが、日中・夜間共にユニット出入口を施錠している。	日中、ユニット出入口の施錠をしない。	職員の配置や業務を行う場所を工夫し、利用者の行動を把握できるようにする。	3 か月	日中は、殆ど施錠する事はなくなっている。
3	39	地域に溶け込んでなく、地域の方との関係が薄い。	地域の方と関わりを持ち、関係を深めていく。	地域の方を呼んでの行事を企画し、施設の事を知って頂いたり、入所者と関わって頂き、地域の方との関係を深めていく。また、地域の行事にも参加する。	12 か月	地域の運動会やお祭りに参加した。8/25に施設の夏祭りを開催し、人数は少なかったが、地域の方々も参加して頂けた。
4	40	運営推進会議の参加者が固定化している。議事録を公表していない。	多くの方に参加して頂き、意見や要望を受け賜わり、運営に反映していく。議事録を公表する。	多方面の方に参加の呼びかけを行う。事業報告だけでなく、医療・福祉分野の情報発信や日常生活に役立つ事を伝えるなど、意義のある会議を開催していく。ホームページを開設し、議事録を公表していく。	12 か月	多くの方に案内を送り、家族の参加は増えているが、地域の方や他の参加者は固定化している。ホームページを開設中。
5	51	地域のケア拠点として機能していない。	地域のケア拠点として機能する。	施設を開放し、交流の場を提供する。地域の社会資源の把握をする。地域のボランティアや学生の実習先としての受け入れ態勢を整える。	12 か月	夏祭りや、地域の方も招待し、入所者や家族と交流して頂く場を作った。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()